

04 / 13 - 10 / 13

シグネチャーパビリオン
「いのちの遊び場 クラゲ館」



伝統的な技術と
現代的なデザインで
次代につながる包丁を

一般の方にも気軽に手に取ってもらえる実店舗を展開

創業は1901年、包丁の製造から販売までの製造小売業に取り組む株式会社實光。堺打刃物の伝統を守りながら現代に合うデザインを取り入れた製品づくりには定評があり、世界的なデザイン賞での受賞歴もあります。同社では、プロの料理人だけでなく、広く一般の方にも実際に手に取ってもらえるよう、同社では東京・京都・大阪に実店舗も構えています。

「いのちの遊び場 クラゲ館」で万博オリジナル包丁を展示予定

大阪・関西万博(以下、「万博」という。)で、8人のプロデューサーによって展開される「シグネチャーパビリオン」。その一つが音楽家であり数学研究者、STEAM教育家の中島さち子氏の「いのちの遊び場 クラゲ館」です。同社は以前から、日本の包丁の良さを全世界の方に知ってもらうための商品開発やワークショップで中島プロデューサーと交流があり、万博では同氏の「いのちの遊び場 クラゲ館」パートナー企業として参加します。具体的には、中島プロデューサーと開発した万博オリジナル包丁と、クラゲ館内にある「創造の木」の端材を柄に使った包丁をクラゲ館で展示予定です。

テーマ「いのちを高める」に、包丁づくりの視点から共感

同社は以前より、中島プロデューサーが提唱するSTEAM教育[Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Mathematics(数学)]に、Art(芸術・デザイン)を加えて 統合的に学習する教育法]に共感し、また中島プロデューサーも、よく切れる包丁で調理した食材の美味しさを科学的に分析した同社のデータなどに高い関心を持って、何度か共同でワークショップを開催するなど交流してきました。

万博での「いのちの遊び場 クラゲ館」のテーマは「いのちを高める」であり、包丁も「いのち」であった食材を調理するものとして強く共感したことが協賛を決めた理由の一つです。

また、同館の「創造の木」の端材を包丁の柄に使った製品を会場で展示・販売することで、SDGsへの取り組みの大切さも訴求します。



實光刃物 なんば戎橋店



中島プロデューサーと實光社長



堺本店でのオープンファクトリー

企業概要

所在地 〒590-0931
堺市堺区錦之町西1-1-9
TEL 072-229-2244
設立年 1972年(創業は1901年)
資本金 1,000万円
従業員 73名

公式サイト

さかしる



代表取締役
實光 俊行 さん

堺の包丁を、そして堺という街を広く 知っていただく機会になれば

当社では「良い包丁が食材を生かす」ことを伝え続けてきましたが、世界中からたくさんの方を迎える大阪・関西万博で、堺の包丁の良さを訴求できることを嬉しく思っています。そして、中島プロデューサーの「いのちの遊び場クラゲ館」には、多くの大手企業が協賛するなかで、当社もパートナー企業として参画させてもらったことに感謝しています。

大阪・関西万博では、特に目新しい技術を展示するわけではありませんが、伝統的な技術と現代的なデザインを磨き続けていけば、次代にもつながることを若い世代の方にも伝えたいと思います。

事業内容

包丁の製造・販売

主な取引先(納入先)

飲食業界

主な製品・サービス等

包丁、砥石